保護者の皆様へ

家庭数

えんどうまめ通信

2016年7月

練馬区立中村小学校　心のふれあい相談員　遠藤　絵里

「みんなの学校」

「みんなの学校」という映画があります。昨年公開され、今でも時々自主上映されているドキュメンタリーです。大阪の公立小、大空小学校は特別支援の必要のある子もない子も同じ教室で学ぶ試みをしました。子供たち、学校の教職員、保護者、地域の人々が様々な葛藤をかかえながらも、だんだんと心を１つにして協力し成長していく軌跡をたどっています。

学校によって、抱えている問題も地域性も様々ですから、すぐに大空小のようにやっていくことは難しいかもしれません。それでも、この「心」は私たち一人一人がもっていけるものではないかなあと思いました。

よく話すのですが、私は方向音痴なので、知らない所に（特に運転して）行く時には緊張します。でもナビや地図があったり、助手席に道をわかる人が乗っていたりすれば大丈夫です。「方向音痴を直しなさい！」と怒られても「なんでわからないの？」と言われても直りませんが、助けがあれば何も困ることなく生きていけます。そんな風に、人それぞれ得意なこともあれば、苦手なこともあります。走るのが大好きな子、リズム感が飛びぬけている子、友達を作るのが苦手な子、じっとしているのが苦手な子、記憶力のいい子、数字を見るだけでダメな子（私です）……などなど、いろんな子がいますよね。苦手なことを頑張る努力もときには必要ですが、みんな違うのですから、それを補い合うことで社会が成り立つとも言えるでしょう。

教室で、わ～っと不安になっている子に「大丈夫だよ」と声をかけること、「この子はこれが苦手なんだな」と思える気持ち、失敗してもお互い「えへへ」と笑える雰囲気、「一人じゃないよ」「みんなクラスの一員だよ」と巻き込む優しさ……まず大人の私たちから実践していけたらいいなと思います。保護者の方同士でも、お互いに「これが困っているの。こんなときは助けてね」と言い合えるオープンなコミュニケーションができるといいですね！

もうすぐ子供たちが楽しみにしている夏休みです。ご家族みんなで「僕（私）は〇〇が得意で××が苦手！××の時はたすけて」とお互いのことを話してみるのもいいですね。１ヶ月間ご家庭で「助け合う温かい雰囲気」を“体験学習”してみてください。

夏バテに気をつけて、ステキな夏休みをお過ごしくださいね。

相談室直通電話　080-2010-1957　月・水・木（面談は原則９時～2時ですが、ご都合のつかない場合は予約の際にご相談ください）　火曜日は臨床心理士の中里先生が相談室にいらっしゃいます。